

No.


2023 年度 理 科 シラバス

山形県立長井高等学校

科目	生物	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	2年次探究コース
使用教材	生物 数研出版 リードα生物 数研出版 新課程版 スクエア最新図説生物 第一学習社						

目 標	(1) 生物学の基本的な概念や原理・法学的理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
-----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準 	ステップ3 生物学の基本的な概念や原理・法学的理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	ステップ2 生物学の基本的な概念を理解しているとともに、観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、内容を振り返るなど、科学的に探究しようとしている。
	ステップ1 生物や生物現象についての基本的な概念を理解している。	生物や生物現象から問題を見だし、観察、実験などを行い、得られた結果を表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に関して、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期試験、課題等 授業内の発言や問題に対する答え	定期試験、レポート、課題等 授業内の発言や問題に対する答え	単元の振り返り 自己評価・相互評価の内容

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA, B, Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

授業の形態、方法

<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中に実験観察や話し合いの場面を設定する。 ・大きなまとまり毎に学習内容の振り返りおよび自己評価等を行う。 ・実験、実習等を積極的に実施する。
--

担当者より

<p>生物学全般の基本となる事項について学ぶ。 最新の知見なども取り入れながら、生命活動全般に対する理解を深める。</p>

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
4	第1章 生物の進化	前期 中間 I まで 10	1. 生命の起源と生物の進化 2. 遺伝子の変化と多様性 3. 遺伝子の組み合わせの変化	
5			4. 進化のしくみ 5. 生物の系統と進化 6. 人類の系統と進化	
6				
7	第2章 細胞と分子	前期 期末 まで 12	1. 生体物質と細胞 2. タンパク質の構造と性質 3. 化学反応にかかわるタンパク質 4. 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	
8				
9				
10	第3章 代謝	後期 中間 まで 14	1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸と発酵 3. 光合成	
11				
12	第4章 遺伝情報の発現と発生	年度末 まで 16	1. DNAの構造と複製 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝子の発現調節 4. 発生と遺伝子発現 5. 遺伝子を扱う技術	
1・2				
3				
合計時数		60		